

言葉かけがやる気に及ぼす効果に関する 指導者と選手の認知の違い

矢澤 久史

金メダルラッシュに湧いたリオデジャネイロオリンピックでも、試合中にコーチが選手に対してある時には叱咤激励の、ある時には戦術に関係した言葉をかける場面を目にした。コーチの言葉かけによって選手が息を吹き返し、劣勢を挽回して勝利を手にしたことも多かった。スポーツ競技において、指導者の言葉かけは競技に及ぼす影響力が非常に高く、競技成績を向上させるためには言葉かけの効果について研究することは重要である（矢澤, 2007）。

梅崎（2010）は、指導者が練習中に各選手に対してどのような言葉かけをしているのかを調べている。彼は、Jリーグのジュニアユースチームにおいて7か月にわたって指導者の発言を録音した。その結果、指導者は競技力の評価が高い選手に対してより多くの言葉かけをしていた。特にプレー前やプレー中にどうしたらうまくなるかを指示するようなプレーに対する直接的な示唆の言葉かけが多くなされていた。これに対し、問題がある選手には叱るなどのネガティブな言葉かけが多かった。安部・落合（2012）は、地区大会レベルの中学生サッカー選手に対するコーチの言葉かけを録音した。分析の結果、期待度が低い選手よりも高い選手に対して、賞賛と励ましを含むポジティブな言葉かけやプレー前やプレー中に具体的な示唆からなる直接的な言葉かけが多くなされていた。

以上の梅崎（2010）と安部・落合（2012）の研究は、選手に対する評価によって指導者の言葉かけに違いが生じることを示したものであるが、言葉かけとやる気（意欲）の関係について検討したのが西田（1996）である。彼は、体育授業中に指導者の発言を録音し、学習意欲の高いクラスでは指導者の総発言数の56.2%が是認、賞賛、激励といった期待や感情を高めるような発言であったのに対し、学習意欲の低いクラスでは期待や感情を高めるような発言は全発言数の11.6%と少なかったことを報告している。

島田・和田（2010）は、中学生を対象に体育授業における指導者の言葉かけについて調査を行った。その結果、成功場面では「パフォーマンスの評価」、「有能の是認」、「成功の賞賛」といった言葉かけが生徒のやる気を高めていた。また、失敗場面では「成功の示唆」、「向上の示唆」、「有能の是認」の言葉かけが生徒のやる気を高めるのに有効であることが示されている。さらに島田（2011）は、体育授業で中学生がうまくいかない状況において、「さっきよりだいぶ良くなっている」という成功の示唆の言葉かけや「君ならできる」という有能の是認となる言葉かけが生徒のやる気を高めることを得た。特に「さっきよりだいぶ良くなっている」という言葉かけはどのような生徒においてもやる気を高め、安心感を持たせる言葉であった。しかし、「君ならできる」という言葉は指導者に対する信頼感の低い生徒では、逆にやる気を低下させていた。

「どうしたら良くなるか考えてみよう」という発問の言葉かけは、勤勉ではない生徒や指導者に対する信頼感の低い生徒ではやる気を低下させる傾向にあり、生徒がうまくいかない状況での言葉かけとしては注意が必要であることが示唆されている。また名取（2007）は、強豪チームに所属する子どもたちであれば、ネガティブな言葉かけを受けても必ずしもやる気を落とす訳ではないことを指摘している。これに対し、遠山・吉田・西原（2013）は、失敗の種類にかかわらず人格評価や突き放しは有効な言葉かけではないことを報告している。植田（2005）によれば、選手は失敗した時には指導者に失敗の原因と次回への手がかりとなる言葉かけを求めていることが多く、次回への手がかりが示されることでやる気が高まるとされている。

以上のような研究に基づき、矢澤（2016）は、全国レベルの高校生男女のスポーツ選手に対し、指導者からの言葉かけがやる気にどのように影響するのかを検討した。70の言葉を普段の練習中に指導者からかけられた場合にどのくらいやる気が出ると思うかをそれぞれ7段階評定させた。分析の結果、最もやる気が出る言葉かけは、「おまえはまだまだ伸びる」であり、この言葉は男女とも平均点が最も高く、第1位を占めていた。この言葉に続くのは、「強くなってほしい」、「強くなったな」、「うまくなった」、「やればできるじゃないか」、「チームが勝つためにはお前の力が必要だ」、「よくやった」であり、選手を激励する言葉や選手をほめるようなポジティブな言葉は得点が高く、選手にやる気を出させていた。一方、男女合わせた全体のやる気得点が一番低かった言葉かけは「向いてない」であり、この言葉は女子においても最下位であった。「向いていない」、「もうやめれば」、「勝手にやっておけ」の3つの言葉は全体でも男女別でも最も低い方から3番目までに入っていた。それに続くのは「見てなかった」、「もういい」などの言葉であり、選手を否定する言葉や、選手を突き放すようなネガティブな言葉は得点が低く、選手のやる気をなくさせていた。

この矢澤（2016）の研究は、指導者からの言葉かけの影響を選手の側から検討したものである。選手にとってはやる気をなくした言葉かけであっても、指導者は選手のやる気を削ぐためにその言葉をかけているとは考えにくい。むしろ指導者は選手が発憤することを期待して「向いていない」、「もうやめれば」というような言葉かけをしている可能性が高い。しかし、矢澤（2016）の研究で明らかになったように、結果的には選手は指導者からのこのようなネガティブな言葉によってやる気をなくしていた。ここに選手側と指導者側の意識の差が示されていると言える。言葉かけに対する選手と指導者との認知の差を検討するためには、選手側と指導者側という両面からのアプローチが必要である。

指導者の言葉かけを選手と指導者の両面から検討した研究に、ソフトボールでの動作用語に関する認知の比較を行った及川・勝田・関岡（2003）がある。彼らの研究では、打撃時においては指導者が重視している動作用語である「踏み込んで打つ」や「からだを開くな」は競技者も重視していることなどが示されていた。しかし、この研究では具体的な技術に関する言葉かけについて指導者と選手の認知の比較が行われているものの、やる気などの心理的な側面については検討されていない。尾方（2015）は、大学生の陸上長距離選手に対する指導者の言葉かけを録音し、指導者の言葉かけと選手の理解度とのギャップについて調べている。その結果、競技成績の上位グループは指導者の言葉かけに対する理解度とのギャップが小さく、指導者の言葉かけの意図を

理解して、冷静に指示を聞きながら練習をこなしていたことが明らかにされている。しかし、彼の研究では、指導者の言葉かけの頻度については技術面（フォーム、ボディ、腕・脚の操作）、精神面（賞賛、叱責、鼓舞など）、体力面（フットワーク、リズム）に分けて測定しているものの、指導者の言葉かけと選手の理解度のギャップに関しては言葉かけの種類別には分析されなかった。したがって、言葉かけが精神面に及ぼす影響について指導者と選手の理解の差があったのかは検討されていない。

以上のことを踏まえて、本研究では矢澤（2016）がインターハイ出場の高校生に対して行った言葉かけとやる気との関係を調べる調査を指導者に実施する。そして、指導者の結果と矢澤（2016）の高校生選手の結果を比較することによって、言葉かけがやる気に及ぼす効果について選手と指導者にどのような認知の差があるかを検討し、スポーツ指導に役立たせる知見を得ることを目的とする。

方 法

1. 被調査者

G県内で2回に分けて行われたスポーツ少年団指導者講習会において出席者に調査の依頼を行い、回答の承諾をして質問紙を提出した269名のデータを分析した。269名のうち男性は190名（平均年齢47.48歳、SD 10.37、レンジは23歳～79歳）、女性は79名（平均年齢41.67歳、SD 5.02、レンジ32歳～61歳）であった。269名の指導者が主として指導している種目は、野球89名、サッカー59名、バレーボール33名、剣道16名、空手14名、バスケットボール12名、バドミントン9名、ソフトボール8名、柔道4名、ホッケー2名、体操、卓球、少林寺拳法、武道、ドッチボールが各1名、未記入が18名であった。

また、指導者と高校生選手の比較のために、結果の分析では高校生選手のデータも用いた。この高校生選手のデータは、矢澤（2016）の論文で報告したものと同一である。つまり、インターハイに出場していたチームのバドミントン選手男子132人、女子191人の計323人から得られたデータである。

2. 手続き

質問項目は矢澤（2016）においてインターハイ出場の高校生選手に回答を求めた言葉かけ70項目をそのまま用いた。スポーツ少年団の指導者に対し、次に挙げる言葉を普段の練習時に高校生選手が指導者からかけられたと想定してもらい、その時に高校生選手は「1.非常にやる気をなくした」、「2.かなりやる気をなくした」、「3.やややる気をなくした」、「4.どちらでもない」、「5.やややる気が出た」、「6.かなりやる気が出た」、「7.非常にやる気が出た」のどれに当てはまると思うか、その番号に○をつけてもらった。

結果と考察

今回調査した指導者のデータについて、指導者がどのような言葉かけで選手のやる気を高め、どのような言葉でやる気をなくすと認知しているかを検討するために、各項目について男女を合わせた全体のやる気得点の平均値、男女別平均値などを算出し、表1の左半分には指導者の全体の平均値が高い言葉順に各値を示した。なお、表1の右側半分には矢澤（2016）で報告した高校生選手のデータを掲載した。指導者と高校生選手のデータを比較するために、表1について項目別に群（2；指導者/高校生）×性（2；男/女）の二要因分散分析を行った。

指導者が選手のやる気を最も高めると考えていた言葉かけは、「うまくなった」であり、男女とも平均値が最も高く、男女とも第1位を占めていた。指導者全体の平均値でこの言葉に続くのは、「うまい」、「強くなったな」、「やればできるじゃないか」、「よくやった」、「チームが勝つためにはお前の力が必要だ」であり、選手を激励する言葉や選手を褒めるようなポジティブな言葉は得点が高く、指導者はこれらの言葉が選手にやる気を出させると認知していた。高校生選手に対して調査した矢澤（2016）の研究でも、ポジティブな言葉かけがやる気を高めることが報告されており、全体的には、指導者が認知している高校生がやる気を高める言葉と実際の高校生選手の認知は一致する傾向が高いと見ることができる。

しかし、細かく項目別に見ると、指導者と高校生選手には認知に差が見られた言葉もあった。指導者の回答で1位と2位を占めた「うまくなった」と「うまい」について、高校生の回答でも「うまくなった」は4位と上位にあり、数値的にも指導者と高校生の平均値には有意差はなかった。一方、「うまい」は高校生では22位であり、指導者よりも高校生の方が有意に得点が低かった（ $F=29.28$, $df=1/267$, $p<.01$ ）。つまり、指導者は「うまくなった」と「うまい」という言葉には同じような効果を持つと認知していたのに対し、高校生では現状をただ単に褒める「うまい」よりも「うまくなった」という成長を認められた言葉かけの方がやる気が出るのがわかる。同様に、「ありがとう」という言葉も指導者では第8位であるのに対し、高校生では28位であり、平均値でも高校生の方が有意に得点が低く（ $F=7.24$, $df=1/267$, $p<.01$ ）、「ありがとう」は指導者が考えているほど高校生にとってはやる気を出す言葉ではないことが示された。なお、指導者のやる気得点が上位10位までに入る項目で高校生が指導者よりも有意に得点が低いのは、この「うまい」と「ありがとう」の2項目だけであった。この2項目はいずれも分散分析において群×性の交互作用が有意であり（うまい； $F=5.08$ 、ありがとう； $F=5.67$ 、共に $df=1/267$, $p<.05$ ）、多重比較の結果、両項目とも高校生では男女の差がなかったのに対し、指導者では男子よりも女子の指導者の方が得点が有意に高く、女子の指導者は男子の指導者よりも「うまい」や「ありがとう」という言葉かけで選手はよりやる気を出すと認知していた。

矢澤（2016）の調査で高校生では男女とも一番やる気が出た言葉であった「お前はまだまだ伸びる」は、今回の指導者全体では7位であり、また平均値でも高校生よりも指導者の得点が有意に低かった（ $F=51.15$, $df=1/267$, $p<.01$ ）。同様な結果は、高校生の第2位であった「お前らに強くなってほしい」（順位では指導者12位 vs 高校生2位；分散分析における群の主効果は $F=63.53$, $df=1/267$, $p<.01$ ）、「こういう練習をしたらもっと強くなる」（19位 vs 10位、 $F=30.35$, $df=1/267$,

$p<.01$)、「努力したら報われる」(20位 vs 8位、 $F=35.90$, $df=1/267$, $p<.01$)、「今回がチャンスだぞ」(22位 vs 14位、 $F=52.66$, $df=1/267$, $p<.01$)、「悔しいなら勝て」(30位 vs 20位、 $F=98.23$, $df=1/267$, $p<.01$)でも示されており、これらの言葉は指導者が考えているよりも実際には高校生がやる気を出す言葉であった。

やる気をなくした言葉について見ると、指導者で男女とも得点が一番低かった言葉かけは、「向いてない」であり、この言葉は高校生においても最下位であった。次に低かったのはこれも男女とも一致して「あほ」であり、それに「そんなこともできないのか」、「だからお前はダメなんだ」、「お前らみたいな下手くそにはな」、「勝手にやっておけ」、「もうやめれば」、「何あの試合」、「情けない」、「もういい」、「見てなかった」などの言葉であり、選手を否定する言葉や選手を突き放すようなネガティブな言葉は得点が低く、選手のやる気を低下させると認知していた。これもネガティブな言葉かけはやる気をなくすという矢澤(2016)の高校生における結果と全体的にはほぼ一致していた。つまり、指導者はこれらの言葉かけによって高校生が発憤してやる気を出すとは考えていないことがわかる。それにも関わらず、スポーツの指導場面では現在でもこのような否定的な言葉がよく用いられている。

個々の言葉かけを見ると、やる気を出す言葉と同様に指導者と高校生の違いも示されていた。「だからお前はダメなのだ」は指導者では順位が67番であるのに対し、高校生では57番であり、指導者よりも高校生の得点が有意に高く($F=29.37$, $df=1/267$, $p<.01$)、指導者が考えているほど高校生のやる気が低下することはなかった。同様な結果は、「情けない」(62位 vs 54位、 $F=18.50$, $df=1/267$, $p<.01$)、「何度言ったら分かるのだ」(59位 vs 50位、 $F=18.85$, $df=1/267$, $p<.01$)でも示されていた。逆に、「やらなくてもいいよ」(55位 vs 64位； $F=18.54$, $df=1/267$, $p<.01$)、「疲れた」(48位 vs 58位； $F=10.28$, $df=1/267$, $p<.01$)は、共に高校生が指導者よりも得点が低く、指導者が考えているよりも高校生のやる気を低下させていた。

分散分析において指導者と高校生の間に主効果があった多くの項目は、指導者よりも高校生の平均値の方が高い得点を示した。逆に高校生の得点の方が低く、指導者が考えているよりも高校生のやる気をより低下させた項目は、先に述べた「やらなくてもいいよ」と「疲れた」以外にも、「ふざけているのか」($F=11.42$, $df=1/267$, $p<.01$)、「練習頑張っていないだろう」($F=9.26$, $df=1/267$, $p<.01$)、「みてなかった」($F=14.27$, $df=1/267$, $p<.01$)、「もういい」($F=8.80$, $df=1/267$, $p<.01$)、「もうやめれば」($F=8.66$, $df=1/267$, $p<.01$)、「勝手にやっておけ」($F=3.88$, $df=1/267$, $p<.05$)であった。高校生選手を指導する際には、これらの言葉を選手にかけると指導者が考えている以上に高校生はやる気をなくすことに注意すべきである。

渋谷(2015)は、本研究と同様に指導者の言葉かけが選手のやる気に及ぼす影響について、選手と指導者の回答を比較している。渋谷の研究では、指導者は選手よりも賞賛の言葉かけによって選手のやる気がより高まると認知していた。また、指導者の方が叱責の言葉かけによってやる気がより低下すると認知していた。渋谷の研究では152語から因子分析によって尺度を選定し、「前よりも良くなったね」、「フォームよくなったね」、「今のいいね」、「うまいねえ」などの10項目からなる賞賛因子、「何をやっているんだ」、「何でできないんだ」、「だからダメなんだ」、「やる気あるのか」などの9項目からなる叱責因子によって指導者と選手の認知が比較されていた。

表1. 各項目における指導者・高校生別の順位、男子、女子別の順位、平均値、SD

番号	項目	指導者全体		指導者男子		指導者女子		高校生全体		高校生男子		高校生女子				
		順位	平均値	SD	順位	平均値	SD	順位	平均値	SD	順位	平均値	SD			
32.	うまくなかった	1	5.83	(0.75)	1	5.74	(0.74)	< 1	6.05	(0.75)	4	5.89	(1.01)	4	5.96	(1.02)
16.	うまい	2	5.64	(0.81)	4	5.52	(0.77)	< 2	5.91	(0.82)	22	5.26	(1.10)	17	5.25	(0.99)
31.	強くなったな	3	5.62	(0.78)	3	5.54	(0.71)	< 3	5.82	(0.90)	3	5.95	(1.02)	4	5.86	(0.97)
12.	やればできるじゃないか	4	5.60	(0.89)	2	5.55	(0.83)	5	5.72	(1.01)	5	5.78	(1.19)	6	5.55	(1.22)
37.	よくやった	5	5.57	(0.89)	5	5.49	(0.77)	< 4	5.77	(1.11)	7	5.56	(1.10)	12	5.31	(1.04)
19.	チームが勝つためにはお前の力が必要だ	6	5.50	(0.96)	6	5.44	(0.91)	7	5.66	(1.07)	6	5.78	(1.22)	2	5.92	(1.15)
61.	お前はまだまだ伸びる	7	5.47	(0.74)	7	5.41	(0.68)	< 9	5.62	(0.85)	1	6.10	(1.03)	1	6.02	(1.11)
23.	ありがとう	8	5.41	(0.98)	9	5.29	(0.96)	< 6	5.71	(0.96)	28	5.07	(1.23)	24	5.09	(1.21)
10.	その調子	9	5.41	(0.78)	8	5.38	(0.77)	11	5.47	(0.83)	16	5.39	(1.00)	21	5.20	(0.96)
52.	良いもの持っているな	10	5.36	(0.80)	11	5.25	(0.73)	< 8	5.63	(0.88)	11	5.41	(1.15)	16	5.27	(1.20)
41.	覚えるのが早いな	11	5.33	(0.78)	10	5.25	(0.74)	< 10	5.51	(0.85)	15	5.40	(1.08)	13	5.31	(1.10)
62.	お前らに強くなってほしい	12	5.26	(0.85)	13	5.22	(0.78)	12	5.37	(1.00)	2	6.00	(1.11)	3	5.90	(1.18)
1.	○○(競技)を楽しんでおいで	13	5.22	(0.96)	12	5.23	(0.97)	14	5.22	(0.92)	26	5.10	(1.18)	25	5.08	(1.14)
6.	思い切って自分をアピールしてこい	14	5.22	(0.97)	14	5.21	(0.90)	13	5.25	(1.14)	9	5.51	(1.17)	8	5.44	(1.15)
64.	期待しているよ	15	5.08	(0.87)	16	5.06	(0.81)	16	5.11	(1.00)	21	5.27	(1.25)	11	5.35	(1.20)
33.	1つずつ1つずつステップアップすればいいから	16	5.06	(0.70)	17	5.04	(0.69)	17	5.10	(0.74)	13	5.40	(1.06)	15	5.27	(1.02)
34.	ラスト	17	5.04	(1.00)	15	5.10	(0.98)	20	4.91	(1.02)	19	5.34	(1.32)	14	5.30	(1.27)
11.	がんばれ	18	5.03	(0.85)	18	4.97	(0.83)	15	5.16	(0.87)	12	5.40	(1.08)	19	5.24	(1.08)
22.	こういう練習をしたらもっと強くなる	19	4.99	(0.83)	19	4.96	(0.81)	18	5.08	(0.87)	10	5.50	(1.09)	7	5.48	(1.09)
7.	努力したら報われる	20	4.92	(0.95)	20	4.89	(0.90)	19	4.99	(1.08)	8	5.52	(1.19)	9	5.44	(1.20)
21.	終わったら休んでいい	21	4.78	(0.99)	21	4.85	(0.98)	27	4.59	(1.02)	27	5.07	(1.32)	26	5.05	(1.37)
39.	今回がチャンスだぞ	22	4.70	(0.92)	22	4.69	(0.90)	24	4.72	(0.97)	14	5.40	(1.19)	10	5.38	(1.19)
46.	あきらめるな	23	4.70	(0.73)	24	4.65	(0.71)	22	4.80	(0.76)	18	5.35	(1.00)	23	5.14	(0.98)
68.	誰でも出来ない事はある。それを出来るようにする	24	4.68	(0.81)	23	4.67	(0.76)	25	4.72	(0.92)	17	5.37	(1.11)	20	5.21	(1.19)
59.	お前はお前なりに頑張っている	25	4.67	(0.84)	26	4.61	(0.80)	21	4.81	(0.91)	29	5.06	(1.32)	31	4.91	(1.34)
36.	自分にもっと自信を持ちなさい	26	4.65	(0.78)	27	4.60	(0.75)	23	4.77	(0.83)	30	4.96	(1.12)	32	4.76	(1.15)
67.	次はお前の番だからな	27	4.64	(0.91)	25	4.62	(0.89)	26	4.67	(0.97)	31	4.92	(1.19)	28	4.97	(1.26)
42.	反省はしてもいいけど、後悔だけはするな	28	4.54	(0.83)	28	4.52	(0.77)	28	4.58	(0.94)	23	5.18	(1.16)	30	4.94	(1.14)
15.	自分に負けるな	29	4.40	(0.91)	29	4.42	(0.78)	31	4.35	(1.17)	25	5.11	(1.21)	27	4.97	(1.17)
48.	悔しいなら勝て	30	4.31	(0.93)	31	4.27	(0.94)	29	4.39	(0.91)	20	5.32	(1.26)	18	5.25	(1.33)
50.	強くなってこい	31	4.30	(0.88)	30	4.28	(0.80)	30	4.37	(1.05)	24	5.18	(1.25)	22	5.16	(1.36)
45.	お前が頑張らないと他の人はついてこないぞ	32	4.19	(0.98)	32	4.23	(0.93)	32	4.10	(1.09)	32	4.77	(1.40)	29	4.95	(1.41)
54.	みんなも楽しんでんだ	33	4.09	(0.83)	33	4.11	(0.83)	33	4.04	(0.84)	34	4.71	(1.23)	33	4.73	(1.17)
55.	あれだけやらないと勝てない	34	4.01	(0.85)	34	4.06	(0.77)	35	3.91	(1.00)	33	4.76	(1.27)	34	4.71	(1.28)

言葉かけがやる気に及ぼす効果に関する指導者と選手の認知の違い

27. 自分のためにやっているとやっています	35	3.97	(0.76)	35	3.99	(0.70)	34	3.92	(0.89)	36	4.42	(1.19)	37	4.35	(1.17)	35	4.47	(1.20)		
60. どうしたんだ	36	3.82	(0.68)	37	3.82	(0.64)	36	3.84	(0.79)	41	3.75	(1.05)	43	3.76	(1.12)	41	3.74	(1.00)		
47. やっぱいいつはうまいな	37	3.82	(0.99)	36	3.87	(0.92)	38	3.70	(1.14)	37	4.16	(1.46)	36	4.49	(1.40)	>	39	3.93	(1.47)	
69. 追い込めていたか	38	3.74	(0.74)	39	3.75	(0.65)	37	3.73	(0.92)	40	3.96	(0.95)	38	4.08	(1.06)	>	40	3.87	(0.86)	
40. あいつに追いつけないぞ	39	3.71	(1.03)	38	3.82	(0.96)	>	41	3.46	(1.16)	35	4.50	(1.56)	35	4.68	(1.48)	36	4.37	(1.61)	
18. 相手のペースに合わせてどうするのだ	40	3.66	(0.78)	40	3.72	(0.70)	40	3.52	(0.95)	39	3.97	(1.21)	40	3.92	(1.18)	38	3.99	(1.23)		
43. そんなことじゃ勝てない	41	3.62	(0.97)	42	3.60	(0.92)	39	3.67	(1.10)	38	4.07	(1.40)	39	3.98	(1.38)	37	4.13	(1.41)		
66. もっと頭を使ってやれ	42	3.58	(0.97)	41	3.66	(0.89)	>	42	3.39	(1.14)	43	3.70	(1.26)	41	3.88	(1.21)	>	45	3.58	(1.29)
25. お前だけぞ	43	3.48	(1.28)	43	3.52	(1.16)	43	3.37	(1.53)	45	3.62	(1.56)	45	3.64	(1.56)	44	3.61	(1.56)		
56. いつまでたってもうまくならないぞ	44	3.44	(1.00)	44	3.49	(0.92)	44	3.32	(1.17)	42	3.73	(1.45)	42	3.86	(1.47)	42	3.64	(1.44)		
20. お前はそこまでできないのか	45	3.30	(1.07)	46	3.36	(1.01)	45	3.16	(1.18)	44	3.67	(1.52)	44	3.73	(1.38)	43	3.63	(1.60)		
17. 中途半端だな	46	3.28	(0.83)	45	3.40	(0.79)	>	46	2.99	(0.86)	47	3.41	(1.06)	46	3.53	(1.01)	47	3.33	(1.09)	
65. そんなんで負けるのか	47	3.20	(0.96)	48	3.32	(0.86)	>	50	2.91	(1.12)	52	3.06	(1.27)	51	3.21	(1.27)	52	2.95	(1.25)	
53. 疲れた	48	3.20	(0.97)	47	3.32	(0.88)	>	51	2.90	(1.11)	58	2.72	(1.32)	54	3.17	(1.21)	>	63	2.40	(1.31)
58. いつも同じパターンで負けるな	49	3.19	(1.00)	50	3.28	(0.90)	>	47	2.97	(1.17)	46	3.52	(1.34)	48	3.51	(1.25)	46	3.53	(1.41)	
28. そんなので、強くなりたいの	50	3.17	(1.00)	49	3.31	(0.88)	>	53	2.86	(1.19)	51	3.06	(1.42)	56	3.05	(1.40)	50	3.06	(1.44)	
49. 前より悪くなっている	51	3.14	(0.86)	51	3.25	(0.80)	>	52	2.87	(0.93)	55	2.95	(1.24)	55	3.07	(1.21)	54	2.87	(1.26)	
21. また、体力切れか	52	3.14	(0.97)	52	3.21	(0.92)	48	2.97	(1.05)	48	3.27	(1.40)	47	3.52	(1.37)	>	49	3.10	(1.39)	
35. ふざけてるのか	53	3.10	(0.88)	53	3.16	(0.85)	49	2.95	(0.95)	59	2.68	(1.25)	57	3.02	(1.25)	>	61	2.45	(1.20)	
26. 練習がんばってないだろう	54	3.02	(1.00)	55	3.13	(0.92)	>	56	2.75	(1.13)	60	2.60	(1.36)	62	2.68	(1.25)	58	2.55	(1.42)	
24. やらなくていいよ	55	3.02	(1.11)	54	3.14	(1.01)	>	57	2.72	(1.28)	64	2.44	(1.46)	65	2.47	(1.35)	62	2.42	(1.54)	
5. 自覚があるのか	56	2.98	(1.14)	56	3.06	(1.05)	55	2.77	(1.30)	49	3.20	(1.34)	49	3.29	(1.32)	48	3.13	(1.35)		
44. やる気あるのか	57	2.95	(1.08)	57	3.02	(1.06)	54	2.80	(1.13)	53	3.00	(1.55)	52	3.19	(1.56)	53	2.87	(1.53)		
29. 今まで何やってきたのだ	58	2.83	(0.97)	58	2.91	(0.92)	>	59	2.65	(1.05)	56	2.80	(1.39)	60	2.76	(1.36)	56	2.83	(1.42)	
13. 何度言ったらわかるのだ	59	2.76	(0.94)	61	2.79	(0.87)	58	2.67	(1.10)	50	3.12	(1.21)	50	3.29	(1.23)	>	51	3.01	(1.19)	
57. 見てなかった	60	2.74	(1.08)	59	2.89	(1.04)	>	62	2.39	(1.11)	67	2.21	(1.23)	64	2.54	(1.26)	>	67	1.98	(1.16)
63. もういい	61	2.72	(0.99)	60	2.81	(0.96)	>	60	2.51	(1.02)	66	2.31	(1.27)	63	2.65	(1.33)	>	66	2.07	(1.17)
8. 情けない	62	2.62	(1.02)	62	2.70	(1.01)	>	61	2.43	(1.03)	54	2.98	(1.31)	53	3.17	(1.38)	>	55	2.84	(1.25)
4. 何、あの試合	63	2.53	(1.12)	63	2.65	(1.08)	>	63	2.24	(1.18)	61	2.58	(1.33)	61	2.73	(1.25)	60	2.47	(1.37)	
38. もうやめれば	64	2.36	(1.14)	64	2.45	(1.08)	>	66	2.13	(1.27)	69	1.95	(1.33)	70	2.00	(1.29)	69	1.92	(1.37)	
30. 勝手にやっておけ	65	2.32	(0.99)	67	2.39	(0.95)	65	2.16	(1.08)	68	2.04	(1.30)	69	2.20	(1.42)	68	1.93	(1.20)		
51. お前からみたく下手くそにはな	66	2.29	(0.96)	66	2.39	(0.93)	>	67	2.04	(0.98)	65	2.32	(1.41)	67	2.41	(1.41)	65	2.25	(1.41)	
3. だからお前はダメなのだ	67	2.28	(1.02)	65	2.41	(1.00)	>	68	1.99	(0.99)	57	2.77	(1.48)	58	2.98	(1.57)	>	57	2.62	(1.40)
14. そんなこともできないのか	68	2.28	(1.01)	68	2.33	(1.00)	64	2.16	(1.03)	62	2.54	(1.33)	59	2.84	(1.40)	>	64	2.34	(1.24)	
70. あほ	69	2.13	(1.12)	69	2.20	(1.11)	69	1.97	(1.13)	63	2.49	(1.45)	66	2.47	(1.40)	59	2.50	(1.49)		
9. 向いてない	70	1.95	(1.05)	70	2.02	(1.03)	70	1.77	(1.07)	70	1.87	(1.28)	68	2.30	(1.15)	>	70	1.58	(1.08)	

これに対し、本研究では因子による比較ではなく、1つ1つの言葉に対する比較を行った。その結果、全体としては、指導者は選手と同様に、選手を激励する言葉や選手を褒めるようなポジティブな言葉は選手にやる気を出させると認知し、ネガティブな言葉かけは選手のやる気をなくすと認知していた。しかし、賞賛と考えられる言葉であっても「うまい」では指導者の方が選手よりもやる気を高めると考えていたのに対し、「うまくなった」では指導者と選手間には差は示されなかった。また、「お前はまだまだ伸びる」、「お前らに強くなってほしい」、「こういう練習をしたらもっと強くなる」、「努力したら報われる」、「今回はチャンスだぞ」、「悔しいなら勝て」は、指導者が考えているよりも実際には高校生がやる気を出す言葉であった。このように賞賛と考えられる言葉でも、言葉によって指導者と選手との認知の仕方が異なっていた。同様なことは叱責についても当てはまるものであった。「だからお前はダメなのだ」、「情けない」、「何度言ったら分かるのだ」は、指導者が考えているほど高校生のやる気が低下することはなかった。一方、「やらなくてもいいよ」、「疲れた」、「ふざけているのか」、「練習頑張っていないだろう」、「みてなかった」、「もういい」、「もうやめれば」、「勝手にやっておけ」は、指導者が考えているよりも高校生のやる気を低下させていた。

選手を指導する場合に、指導者は選手の特性やその場の状況に応じて様々な言葉かけを行う。賞賛や叱責でも具体的にどのような言葉かけをかけるかはその時に応じて変わってくる。その際には、本研究で示してきたように、1つ1つの言葉かけがやる気に及ぼす影響について指導者と選手がそれぞれどのように認知しているかを知っておくことが重要であると思われる。

引用文献

- 安部久貴・落合優 2012 サッカー指導者の選手に対する期待と声かけの関連性 東京学芸大学学校教育学研究論集, 26, 55-67.
- 名取洋典 2007 指導者の言葉かけが少年サッカー競技者の「やる気」におよぼす影響 教育心理学研究, 55, 244-254.
- 西田保 1996 体育における学習意欲の喚起に関する教師の発言分析 総合保健体育科学, 19, 1-8.
- 尾方剛 2015 陸上競技・長距離種目における指導者の言葉かけに関する研究—競技力別にみた頻度と理解度との関係 陸上競技研究, 4, 21-27.
- 及川千絵・勝田隆・関岡康雄 2003 ソフトボールにおける指導言語に関する研究—高校女子プレーヤーとその指導者を対象として— 仙台大学大学院スポーツ科学研究科研究論文集, 4, 35-40.
- 渋谷聡 2015 スポーツ活動での言葉かけにおける競技者と指導者の認知の違いについて—やる気高める言葉かけを対象として 星槎大学紀要共生科学研究, 11, 75-87.
- 島田知明 2011 体育授業における教師の言葉かけの効果—生徒の認知、感情及びやる気からの検討— 京都教育大学平成22年度修士論文
- 島田知明・和田尚 2010 体育授業における指導者の言葉かけが生徒のやる気に及ぼす影響 日本体育学会大会予稿集, 61, 110.
- 遠山幸司・吉田重和・西原康行 2013 スポーツにおいて選手に失敗を繰り返させない指導者の叱り言葉とは—大学サッカー選手に対する言葉かけの検討— 教師学研究, 12, 21-29.
- 植田恭史 2005 コーチング研究 (IV) —指導者の言葉— 東海大学紀要体育学部, 36, 65-71.

言葉かけがやる気に及ぼす効果に関する指導者と選手の認知の違い

- 梅崎高行 2010 サッカー指導における相互的なバイアス構成の検討 教育心理学研究, 58, 298-312.
- 矢澤久史 2007 指導者の言葉かけが子どものやる気と認知に及ぼす影響 東海学院大学紀要, 1, 211-217.
- 矢澤久史 2016 指導者からの言葉かけが高校生スポーツ選手のやる気に及ぼす影響 名古屋短期大学研究紀要, 54, 51-57.

(受理日 2017年1月10日)